

平成30年12月21日

2学期終業式

今日で2学期が終わります。みんなにとって2学期はどんな学期でしたか？2学期の始業式に、池江選手の話をして、自分の目標達成と日本1の学校づくりに向かって頑張る学期にして欲しいと言いました。どおだったでしょうか？

さて、今日は、ヨーロッパで知られている昔話をします。

ヨーロッパのある村で何十年も先生をしていた方が退職し、故郷に帰ることになりました。村人達は、大変お世話になった方なので、何かお礼をしようと話し合いました。でも、この村は大変貧しい村だったので先生にお金をかけて贈り物をするような余裕がありませんでした。

そこで村人達は、村の名産であるワインを各家庭から少しずつ持ち寄り、大きな樽に集めることにしました。多くの村人が少しずつですがワインを持ち寄り、すぐに樽は一杯になりました。

先生も大変喜んでくれて、故郷に帰りました。2, 3日して先生は、みんなからいただいたワインを楽しみにして飲もうとグラスにつき1口飲みました。しかしそのワインを口にするとたん先生の表情が「期待と喜び」から「疑惑と驚き」に変わりました。

なんと、グラスの中身(樽の中身)は、どう味わっても「水」だったのです。

つまり、村人達は、「自分1人ぐらいは、水を入れてもわからないだろう」と考えたのです。でもそれが、みんなだったためにこのようなことになったのです。きっと何人かは、本当にワインを入れたに違いありません。もしこれが逆であったなら本当にワインの味がしたはずですね。

みんなの2学期の生活の中で、合唱コンクールでちょっとぐらい歌わなくても、ちょっとぐらい挨拶の声が小さくて、ちょっとぐらい宿題を出さなくてもと思ったことはありませんか？人間は、弱いので誰もがそんな思いになったことがあるのではないかと思います。

そのちょっとという気持ちがかもしかすると自分の失敗につながったりするかも知れません。

3学期は、締めくくりの学期になります。この冬休みは、これまでの自分の生活を振り返り、学年の締めくくりのために何をどう頑張るかを考えながら、お正月に1年の目標を立ててみてほしいとおもいます。

3学期、みんながどんな1年の目標を立てたか楽しみにしています。